

## 「細胞間伝播性 $\alpha$ シヌクレインの翻訳後修飾を標的とした新規神経保護ストラテジーの構築」に関する情報公開

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

### ●研究の名称

細胞間伝播性 $\alpha$ シヌクレインの翻訳後修飾を標的とした新規神経保護ストラテジーの構築

### ●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

### ●研究の対象

2001年7月～2024年8月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、死後の病理診断によりパーキンソン病 (PD) あるいはレビー小体型認知症 (DLB) と診断された方および顕著な疾患なしと診断された方。

### ●研究の期間

倫理委員会承認後から 2027年 3月まで

### ●研究の目的と概要

パーキンソン病 (PD) やレビー小体型認知症 (DLB) で蓄積する $\alpha$ -Synuclein ( $\alpha$ Syn) は、シードと呼ばれる凝集体分子を通じて病変が広がると考えられています。私たちは、凝集体を形成している分子の中に特異な切断部位があることを見つけました。本研究では、人の脳内に実際にこの切断部位が存在するかどうかを検証いたします。

### ●研究の方法

PD 脳由来の黒質を含む凍結組織ブロック、あるいは DLB 脳由来の大脳皮質凍結ブロックを出発材料として、これら脳組織を破碎し、ショ糖密度勾配遠心分離法によって低比重画分を調製します。次に、この画分に含まれる $\alpha$ Synを免疫沈降法により濃縮・回収し、質量分析機にかけて断端解析を行い、当該切断サイトが検出されるかを検索いたします。

### ●研究に使用する試料・情報

レビー小体型認知症 (DLB) 2例

αSyn gene duplication レビー小体病 1 例

対照脳

凍結脳組織とそれに付随する診療情報、病理所見

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク

齊藤祐子

村山繁雄

県立広島大学

田口勝敏（研究代表者）

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）